学校番号	3011

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	英語コミュニケーションⅡ	5	大学進学 ２年	Vivid English CommunicationⅡ

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・英語コミュニケーションⅡの授業では、「聞くこと」「読むこと」「話すこと(やり取り・発表)」「書くこと」という４技能５領域の力をつける活動を行います。読み聞きしたことを基に、情報や考えなどについて話したり書いたりする言語活動を通して、英語コミュニケーションⅠの内容に加え、発展的な文法活用方法を学びます。
・英語の語彙や文法、発音や流暢さについては、実際のコミュニケーション場面を想定し、どのように使われるか、どのように活用することができるかを意識し、学習していきましょう。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第２学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
学習到達目標	・読んだ英文の内容や使われている表現を基にした会話や簡単な意見交換の中で、相手の言うことを聞き取ることができる。 ・キーワードを聞き取って内容を想像したり、話し手の意図に注意して聞いたりすることができる。	・キーワードなどから英文のトピックを把握し、パラグラフの要点や論理展開を意識しながら読むことができる。 ・ディスコースマーカーなどを意識しながら英文構造を的確に把握することができる。	・学習した表現や文法知識を活用して、身近な話題について簡単な会話をすることができる。 ・言いたいことを整理しながら話したり、質問や相槌の表現などを使いながら会話を続けたりすることができる。	・身近な話題について、聞き手に分かりやすい説明、簡単な意見交換やそれに基づく発表などをすることができる。	・身近な事物に関する簡単な説明文や、伝言文を書くことができる。 ・英語らしい構造を持ったパラグラフを書くことができる。 ・つなぎ言葉を使いながら、日記などのまとまりのある英文を書くことができる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	Lesson1 Japanese Athletes and English	聞くこと	a: 英語の音の特徴に注意して英文を聞くことができる。 b: 日本人アスリートと英語について、的確に内容を捉えて聞くことができる。 c: 日本人アスリートと英語について、内容を整理しながら聞こうとしている。	授業内活動
		読むこと	a: 進行形、受け身について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 b: 日本人アスリートと英語について、的確に理解し、その内容を整理しながら読むことができる。 c: 日本人アスリートの英語に対する思いを読み取ろうとしている。	授業内活動 定期考査(リーディング)
		話すこと （発表）	a: 英語の音の特徴に注意して英語を発音することができる。 b: 日本人アスリートと英語について的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 c: 聞き手に伝わりやすい発音やスピードで話そうとしている。	発表テスト
		書くこと	a: 進行形、受け身について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 b: 日本人アスリートと英語について、的確に理解し、その内容を整理して書くことができる。 c: 情報を整理しながら、聞き手にわかりやすい構成で書こうとしている。	授業内活動
	Lesson2 Our Beloved Yellow Fruit	聞くこと	a: 英語での対話文の特徴について理解を深め、正確に情報を聞くことができる。 b: バナナに関する対話を聞いて、バナナの危機に対して何ができるのかを聞き取ることができる。 c: 英語での対話文の特徴を理解しようとしている。	授業内活動
		読むこと	a: seem to～、It is…that～について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 b: バナナの特徴や危機について的確に理解し、その内容を整理しながら読むことができる。 c: バナナの特徴や危機について理解しようとしている。	授業内活動 定期考査(リーディング)
		話すこと （発表）	a: 英語の音の特徴に注意して、英文を発音することができる。 b: 好きな果物や野菜について発表することができる。 c: 要点をしぼってスライドを作成しようとしている。	発表テスト
		書くこと	a: seem to～、It is…that～について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 b: 好きな果物や野菜について概要をまとめ、スライドを作ることができる。 c: 聞き手にとってわかりやすくまとめようとしている。	授業内活動 定期考査(ライティング)
	中間考査			
	Lesson3 Preparing for Potential Risks	聞くこと	a: It is +形容詞+that 節について理解を深める。 b: クミのプレゼンを聞いて、世界の自然災害の発生状況やクミの考えについて正確に聞くことができる。 c: グラフを参考に、数字を意識して聞こうとしている。	授業内活動
		読むこと	a: 完了形について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 b: 自然災害と防災について的確に理解し、その内容を整理しながら読むことができる。 c: 自然災害と防災について理解しようとしている。	授業内活動 定期考査(リーディング)
		話すこと （やり取り）	a: 既習の知識を活用して話すことができる。 b: ALT に避難経路や防災グッズについて説明できる。 c: 聞き手に伝わるように、考えを整理し、具体的かつ簡潔に伝えようとしている。	発表テスト
		書くこと	a: 完了形について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 b: 自然災害と防災について、的確に理解し、その内容を整理して書くことができる。 c: 情報を整理しながら、聞き手にわかりやすい構成で書こうとしている。	授業内活動 定期考査(ライティング)

	Lesson4 To Make a More Open Society	聞くこと	a: S+V+O+O について理解を深め、情報を聞くことができる。 b: クミとデイビッドの対話を聞いて、国際交流イベントについて正確に聞くことができる。 c: 国際交流イベントについて、日時を意識しながら聞こうとしている。	授業内活動
		読むこと	a: S+V+O+O、関係代名詞について理解を深め、これらを適切に活用して英文を読むことができる。 b: 国際化する日本と開かれた社会にするために重要なことについて、整理しながら正確に読むことができる。 c: 国際化する日本と開かれた社会にするために重要なことについて、S+V+O+O、関係代名詞を意識しながら、正確に読み取ろうとしている。	授業内活動 定期考査(リーディング)
		話すこと （発表）	a: S+V+O+O、関係代名詞について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 b: 国際化する日本と開かれた社会にするために重要なことについて、的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 c: 間違いを恐れずに、聞き手にわかりやすく伝えようとしている。	発表テスト
		書くこと	a: S+V+O+O、関係代名詞について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 b: 国際化する日本と開かれた社会にするために重要なことについて、的確に理解し、その内容を整理して書くことができる。 c: 情報を整理しながら、聞き手にわかりやすい構成で書こうとしている。	授業内活動
	期末考査			
2	Lesson5 True Love between a Cat and a Dog	聞くこと	a: 群動詞、進行形、関係副詞について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 b: くぅとしのに起こった出来事について、誰が、何をしたか、何が起こったかを意識して聞くことができる。 c: くぅとしのに起こった出来事について、内容を整理しながら聞こうとしている。	授業内活動
		読むこと	a: 群動詞、進行形、関係副詞について理解を深め、それらを適切に活用できる。 b: くぅとしのがともに過ごした時間ときずなについて、心情や背景を捉えながら読むことができる。 c: くぅやしのの心情や背景を理解しようとしている。	授業内活動 定期考査(リーディング)
		話すこと (やりとり)	a: 会話に適した発音ができる。 b: 写真に合うくぅとしのの会話を創作し、くぅやしのになりきって発表することができる。 c: くぅやしのの感情を表現しようとしている。	発表テスト
		書くこと	a: 既習の知識を活用して書くことができる。 b: 写真を見て、くぅとしのの会話を想像して書くことができる。 c: くぅやしのの感情を表現しようとしている。	授業内活動
	Lesson6 A Society with Drones	聞くこと	a: 分詞構文、助動詞、助動詞+have+過去分詞について理解し、それらを活用できる。 b: ドローン活用の是非について整理しながら聞くことができる。 c: ドローン活用の是非について内容を整理しながら聞こうとしている。	授業内活動
		読むこと	a: 分詞構文、助動詞、助動詞+have+過去分詞について理解し、それらを活用できる。 b: ドローン活用の是非について整理しながら読むことができる。 c: ドローン活用の是非について、分詞構文、助動詞、助動詞+have+過去分詞を意識しながら正確に読み取ろうとしている。	授業内活動 定期考査(リーディング)
		話すこと (やり取り)	a: 自分の意見を伝えるための表現を理解し、活用できる。 b: ドローン活用の是非についてピンポイントディベートをすることができる。 c: 英語でのディベートの方法を理解しようとしている。	発表テスト
		書くこと	a: 自分の意見を伝えるための表現を理解し、活用できる。 b: ドローン活用の是非について、自分の立場を示し、その根拠や理由を相手に伝わる表現で書くことができる。 c: 教科書の表現だけに頼らずに、自分なりの表現で書こうとしている。	授業内活動 定期考査（ライティング）
	中間考査			
	Lesson7 “Cloning”	聞くこと	a: 時や理由などを表す副詞節について理解を深め、情報を聞くことができる。	授業内活動

	Cultural Properties		b: クミとデイビッドの対話を聞いて、展覧会について正確に聞くことができる。 c: 展覧会について、日時や価格を意識しながら聞こうとしている。	
		読むこと	a: 分詞構文、関係代名詞について理解を深め、これらを適切に活用して英文を読むことができる。 b: スーパークローン文化財の役割や重要性について、整理しながら正確に読むことができる。 c: スーパークローン文化財の役割や重要性について、分詞構文、関係副詞を意識しながら、正確に読もうとしている。	授業内活動 定期考査(リーディング)
		話すこと （発表）	a: 分詞構文、関係代名詞について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 b: スーパークローン文化財の役割や重要性について、的確に理解し、その内容を整理して伝えることができる。 c: 間違いを恐れずに、聞き手にわかりやすく伝えようとしている。	発表テスト
		書くこと	a: 分詞構文、関係代名詞について理解を深め、これらを適切に活用することができる。 b: スーパークローン文化財の役割や重要性について、的確に理解し、その内容を整理して書くことができる。 c: 情報を整理しながら、聞き手にわかりやすい構成で書こうとしている。	授業内活動 定期考査（ライティング）
	Lesson8 Peace Messages from Hiroshima	聞くこと	a: 倒置、S+V+O+C、同格の that について理解を深め、それらを適切に活用することができる。 b: 様々な人からの平和のメッセージについて的確に理解し、その内容を整理しながら聞くことができる。 c: 倒置、S+V+O+C、同格の that を意識しながら聞き取ろうとしている。	授業内活動
		読むこと	a: 倒置、S+V+O+C、同格の that について理解を深め、それらを適切に活用することができる。 b: 様々な人からの平和のメッセージについて的確に理解し、登場人物の想いを推測しながら読むことができる。 c: 倒置、S+V+O+C、同格の that を意識しながら正確に読み取ろうとしている。	授業内活動 定期考査（リーディング）
		話すこと （やり取り）	a: 会話に適した発音ができる。 b: 整理した内容を活用して、デイビッドの質問に答えることができる。 c: 質問に対して、具体的かつ簡潔に答えようとしている。	授業内活動
		書くこと	a: 既習の知識を活用して書くことができる。 b: 様々な人からの平和のメッセージについて的確に理解し、その内容を整理して書くことができる。 c: 教科書の表現だけに頼らずに、自分なりの表現で書こうとしている。	授業内活動 定期考査（ライティング）
	期末考査			
3	Optional Lesson2 Information Please	聞くこと	a: 既習の知識を活用して聞くことができる。 b: この物語について、誰が、何をしたか、何が起こったかを意識して聞くことができる。 c: ストーリー全体の展開を理解しようとしている。	授業内活動
		読むこと	a: 既習の知識を活用して読むことができる。 b: ストーリー全体の展開を的確に捉えながら読むことができる。 c: 登場人物の心情や背景を理解しようとしている。	授業内活動 定期考査（リーディング）
		話すこと （やり取り）	a: 既習の知識を活用して話すことができる。 b: もし自分がポールだったらサリーにどんな返事を書くか、自分の考えを伝えることができる。 c: 聞き手に伝わるように話そうとしている。	授業内活動
		書くこと	a: 既習の知識を活用して書くことができる。 b: ポールになりきって、サリーに返事を書くことができる。 c: ポールやサリーの心情や背景を理解して書こうとしている。	授業内活動 定期考査（ライティング）
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度